

【(10) 授業の評価・まとめ】

①「授業の振り返りにノートや評価カードを活用している」

《つまずきの背景》

L セルフモニタリングの困難さ、O 見通しを持つことの困難さ、P 自尊感情の低下、S こだわり

《解説》

ノートや評価カードを活用して授業の振り返りを行うことで、本時の授業や単元等で分かったことや疑問点を整理することができたり、子ども自身が自分の授業態度について振り返ることができたりします。また、教師がノートや評価カードを用いて賞賛することで、学習意欲を高めることにつながります。

学級の中には、自分の授業態度を振り返ることが難しい子どもや授業内容について間違っ理解してしまっている子どもがいる場合があります。ノートや評価カードに、本時の授業や単元等で分かったことや疑問点などを書いたり、評価項目に沿って自分の授業態度について考えたりすることで、自分の授業態度を振り返ることができます。また、教師がノートや評価カードを確認しコメントを入れて返却することで、間違っ理解している場合は訂正することができ、疑問点に答えることもできます。

自己評価をさせるときに、書く内容や評価の観点について具体的に示したり、評価を数値化して伝えたりすると分かりやすくなります。

【工夫点】

- ・学習した内容について、算数日記や学習日記を書かせる。(小)
- ・自己評価カードを活用し、振り返りをさせる。(小中高 工夫例 65)
- ・ノートに学習のまとめを書かせ、理解度を確認し、コメントを入れて返す。(小中高)

◆工夫例 65「自己評価カードを活用し、振り返りをさせる」

組 番 氏名						ゴールド		
						3 G		
自己評価 プリントの有無 ・・・○×			貼っている？	自己評価			貼っている？	自己評価
	自然との共存	①	○	A	国際化の流れの中で	漢字①	○	A
		②	○	A		漢字②	○	A
		③	○	A		①	○	A
		語句	×	B		②	○	A
		漢字①	○	A	③	○	A	
		漢字②	○	A	④	○	A	
	漢字③	○	A	感想文	×	俳句出した？	○	
2学期の感想・反省								

《国語（高等学校）》

単元ごとに自己評価カードを活用して、振り返りをさせています。

「プリントをノートに貼っているかどうか」と自己評価の基準を示し、授業を振り返り自己評価できるようにします。学期の最後には、感想や反省を書かせ、提出させます。

教師が提出させたものを確認し、コメントを入れて返却します。

また、提出物を出したり、小テストで満点を取ったりすると、1G（ゴールド）のポイントカードを渡します。遅れて出しても0.5Gを与えます。ポイントは平常点に加えることを子どもに伝えているので、ポイントを集めることを目指して頑張る子どもも出てきます。

組 番 氏名		獲得ゴールド	
		3 G	
刻苦勉励(夢を実現させる!)		1 G	1 G
刻苦勉励(夢を実現させる!)		0.5G	0.5G